

## はしがきと本書の構成

Pathfinder、それは未開の地に道を求めて雄々しく歩む者——。

英語の学習も、広大な英語の世界を自力で進むことにほかなりません。そうして自ら切り拓いた道こそ、真に皆さんのものとなるはずです。

しかし、自分でやみくもに英語と格闘しても、効率的に英語が身につくわけではありません。見知らぬ土地を旅するにはそれなりの装備が必要なように、英語学習にも道具ツールが必要です。なかでも英文法は、英語世界の羅針盤コンパスといえるでしょう。これを携えれば、進むべき道が見えてくるのです。

幸い、多くのすぐれた先人たちが、英文法習得の道筋をつけてくれています。本書 *College Grammar Pathfinder* は、先人たちが粒々辛苦の末に体系づけた英文法のエッセンシャルズを、簡潔かつ分かりやすく皆さんに伝えることを目的に編まれました。

まずは自力で本書の問題に挑んでください。文法の解説を熟読してください。自分の頭で考え、理解しようと努める姿勢が大切です。そうやって獲得したアクティブな知識やスキルこそ、一生ものの価値をもつはずです。しかし、本書は決して皆さんを突き放したりしません。皆さんと併走しながら、英文法の知識を完成させるという考えで、本書は貫かれています。何度も本書を学習することで、著者らの意図は理解してもらえるものと信じています。

本書を開いたあなたが英語学習の *pathfinder* として歩いていくことを、願ってやみません。

### 〈本書の構成について〉

本書は、大学生がマスターしておくべき 24 の文法項目を精選し、それぞれに 1 ユニットが当てられています。

**Tryouts** では、写真をベースに英文法の知識を確認します。中学・高校で学んだ基礎知識を総動員して解いてみてください。

**Quick Review of Grammar Points** は、簡潔にして十分な文法の解説です。例文を多くあげ、具体例からポイントをつかめるよう配慮しました。

**Check Your Grammar Knowledge** と **Sentence Correction** では、学習したばかりの知識を再確認します。

**Listen & Fill In** では、そのユニットのポイントを中心とした聴き取りのトレーニングをおこないます。

**Sentence Completion** と **Sentence Formation** は総仕上げです。英文を完成させたり構成したりする作業を通じ、重要事項の最終的な定着をねらいとします。なお、ここで用いられる英文はそのまま使えるものばかりですので、何度も暗唱することをお勧めします。

最後にコラム **Grammar Tip** もお楽しみください。知っておくと楽しく、何かと便利な情報満載です。

本書を作成するにあたり、英文校閲では Colleen M. Sheils さんに大変お世話になりました。心よりお礼申し上げます。

Unit 1	英語の基本語順を見てみよう	1
Unit 2	自動詞と他動詞、どう見分ける?	6
Unit 3	人もモノも目的語：二重目的語	11
Unit 4	補語が目的語を説明する：補語	16
Unit 5	文頭に特徴あり：疑問文	21
Unit 6	NOT だけが否定とは限らない	26
Unit 7	現在形は習慣、今、起こっていることは現在進行形	31
Unit 8	現在から切り離された時：過去形	36
Unit 9	出来事を時間の流れでとらえよう：完了形	41
Unit 10	その場で決めたら will、計画したら be going to	46
Unit 11	助動詞で動詞の意味は変幻自在	51
Unit 12	数えられる名詞と数えられない名詞	56

• Unit 13	言葉を修飾する：形容詞と副詞	61
• Unit 14	形容詞のような形容詞句、副詞のような副詞句	66
• Unit 15	動詞は to や ing で変身：動名詞と不定詞	71
• Unit 16	前置詞は英語の『て、に、を、は』(1) 場所と動き	76
• Unit 17	前置詞で時間を詳しく (2) 時間	81
• Unit 18	Better? Best? それとも同じ?：比較	86
• Unit 19	立場が変わる受動態と能動態	91
• Unit 20	ロジックの要：接続詞	96
• Unit 21	節と節をつなぐ関係代名詞	101
• Unit 22	場所・時・理由・方法の詳しい説明：関係副詞	106
• Unit 23	他人の話をどう伝える?：話法	111
• Unit 24	ありえない話は仮定法で	116

英文法征服の第一歩として、英語の語順の大原則をマスターしておきましょう。どんな複雑な文も、実はこのシンプルな大原則に従っているのです。



## Tryouts

写真を参考にして、正しい英語表現を a ~ d から選びましょう。

1



- a. A dog holds her.
- b. She holds a dog.
- c. She a dog holds.
- d. Holds a dog her.

2



- a. He uses a computer.
- b. He a computer uses.
- c. A computer uses him.
- d. Uses a computer he.

3



- a. Those are horse animals.
- b. Animals are those horses.
- c. Horses are those animals.
- d. Those animals are horses.

4



- a. The messy is room.
- b. The messy room is.
- c. Messy is the room.
- d. The room is messy.



## Quick Review of Grammar Points

### 1 主語、述語、目的語、補語

原則として、主語 (Subject) と述語 (Verb) は必要であり、God exists. (神は存在する) のようにその2つだけで成立する文もあります (S+Vの文)。しかし、多くの場合、さらに目的語 (Object) や補語 (Complement) が加わります。英文の基本語順は、以下の2つに集約されます。

#### S+V+Cの文

Nancy is a good pianist.  
主語 述語 補語

#### S+V+Oの文

Nancy plays the piano.  
主語 述語 目的語



### 2 主語=補語、主語≠目的語の関係

補語とは、文字通り主語を補う、すなわち主語についてさらに補足的な説明をする語です。上の S+V+C の文 (Nancy is a good pianist.) では、Nancy = a good pianist という関係になっていることに注目しましょう。それに対して、2つめの S+V+O の文 (Nancy plays the piano.) では、Nancy ≠ the piano という関係です。だから the piano は補語ではなく、目的語ということになります。

### 3 補語になり得るのは、名詞と形容詞

上の例文を使って説明を続けましょう。状況によっては、わざわざ Nancy が pianist であることを言わなくても、十分理解される場合があります。例えばコンサート会場で Nancy が上手にピアノを演奏したのであれば、次のように言うだけでも分かってもらえます。

Nancy is good.  
主語 述語 補語

形容詞 good は主語 Nancy について補って説明しているので、補語として扱われます。このように、名詞と形容詞だけが補語になれるのです。

### 4 どんなに複雑そうな文も、実は上の基本語順の大原則に従っています

Do you think that the voters will elect Gary mayor?  
主語 述語 目的語

(有権者がゲイリーを市長に選ぶと思うかね)

Understanding each other's languages is an important step toward world peace.  
主語 述語 補語

(お互いの言葉を理解することは、世界平和への重要な一歩である)



## Check Your Grammar Knowledge

I. 以下の説明で、正しいものにはTに、誤りと思うものにはFに○をつけましょう。

1. **T/F** 主語と述語だけでは文は成り立たない。
2. **T/F** 補語は、動詞を補う語であり、動詞＝補語の関係にある。
3. **T/F** 述語はおおむね動詞であるが、be動詞は述語になれない。
4. **T/F** 補語になり得るのは、名詞と形容詞である。
5. **T/F** どんなに複雑そうな文も、主語＋述語＋目的語、または主語＋述語＋補語の大原則に従っている。

II. 以下の( )に必要なに応じて適語を入れましょう。必要でない場合には( )に×を入れましょう。

1. “Are you hungry?” “Yes, I ( ) .”  
「おなかがすいてますか」「はい、すいています」
2. My sister is ( ) a college student.  
妹は大学生です。
3. ( ) happened to the city was beyond words.  
その都市に起こったことは言葉にできないものだった。
4. Would you please ( ) close the window?  
窓を閉めていただけますか。
5. Memorizing a lot of words ( ) one way to master a foreign language.  
多くの語を覚えることが、外国語を習得する方法のひとつである。



## Sentence Correction

以下の英文の( )内は誤っています。正しい英語に直してみましょう。

1. “Anything to drink, sir?” “Thanks. I’ll ( be ⇒ ) coffee.”
2. Birds ( flies ⇒ ) .
3. Nancy is ( the piano ⇒ ) .
4. ( Know ⇒ ) you has taught me how to be a good friend.
5. Bob asked me ( why ⇒ ) I wanted to borrow his DVD, and I said “Yes.”



## Listen & Fill In



DL 02



CD 02

CD を聴いて、以下の英文の ( ) に適当な語を書き入れましょう。

### Japan's National Sport?

I am a great fan of sumo. I've never (1. ) a sumo match on TV. But just recently, they decided to stop televising live sumo matches for a while. The reason was very (2. ). According to the latest news, some sumo wrestlers were involved in serious crimes, such as illegal gambling. The news (3. ) me sad because sumo is Japan's national sport. Those wrestlers should (4. ) ashamed of themselves. I only hope (5. ) they will restart the broadcasting of sumo matches soon.



## Sentence Completion

以下の英文を完成させるのに最も適当な語句を a ~ d から選び、( ) に入れましょう。

- Everyone ( ) kind to the poor family.  
a. did    b. was    c. were    d. loved
- Are your hands ( )?  
a. clean    b. cleanness    c. cleaning    d. cleanly
- Dave is ( ).  
a. honesty    b. an honest man    c. honestly    d. an honesty
- The tourist ( ) a buffalo burger.  
a. eat    b. eating    c. ate    d. is eaten
- The police officer asked ( ) I knew the woman in the photo.  
a. what    b. where    c. who    d. whether



## Sentence Formation



DL 03



CD 03

日本語の意味になるように、以下の語句を並べ替えて英文を完成させましょう。

1. あなたの妹は猫が好きではないですね。

( does / like / doesn't / sister / cats, )

Your \_\_\_\_\_ she?

2. 私はこの大学の学生ではない。

( a / not / I / student / am )

\_\_\_\_\_ at this university.

3. カルロスが昨日話したことは本当だ。

( Carlos / said / yesterday / what )

\_\_\_\_\_ is true.

4. 彼の態度がガブリエルを悲しませた。

( sad / made / Gabriel )

His attitude \_\_\_\_\_.

5. 英語を学ぶ理由のひとつは、世界についてもっと知ることだ。

( world / is / the / learn / about / more / to )

One reason for studying English \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_.

### Grammar Tip

#### 英語に助詞があったら…

日本語には助詞という便利な語があります。助詞とは、「て、に、を、は」のような、他の語のすぐ後について、その語の役割や文の意味を決めるもの。この助詞のおかげで、日本語の語順はとてゆゆるやかです。例えば、「イチローはホームランを打った」「ホームランをイチローは打った」「打った、ホームランを、イチローは」のどれも文として成立します。ところが英語には助詞に当たるものが存在しません。そのため、語順で文の意味を決めるしかないので。The lion ate the zebra. (ライオンはシマウマを食べた) と The zebra ate the lion. (シマウマはライオンを食べた) では、正反対の意味になります。日本語と英語、はてさて、どっちの方が学びやすいのでしょうか…。